



子育ては、できることを楽しく！！

小中学校では夏休みも終わり、25日から2学期が始まりました。お父さんもお母さんも子育てにがんばっています。しかし、時間的にも精神的にも「ゆとり」が持てなかったり、悩んでいたりしていませんか。子育てには多大な努力や困難が伴います。

そこで、家族と一緒に過ごす時間は減っていますが、毎日できること、時間があまりなくてもできることなど、苦にならない親子一緒に取り組みを楽しく行いませんか。

たとえば、毎日のあいさつ、「おはようございます」、「おかえりなさい」「ただいま」、「おやすみなさい」など笑顔であいさつを交わす取り組みを……。

もう一つは、夕食時間等に「1日のできごと」などを語り合いたいですね。ここでは、ただ聞くだけでなく、質問をしてあげましょう。楽しい会話がおいしい夕食のおかずとなるとともに、話す力が身につきますよ。

最後に、ほめることです。『ほめられた子は自立します。』以下を参考に取り組んでみては……。



『ほめる』とは、子どもを評価することではありません。

『ほめる』とは、子どものがんばり、成長を見つけて、その喜びを伝えていくことです。

『叱る』とは、子どもに腹を立てることではありません。

『叱る』とは、子どもが、自分も他人も大切にできるように1つずつ教えていくことです。

【明橋 大二(あけはし だいじ)先生のことばより】

今よりちょっとだけがんばる子育ての積み重ね！！

家族の笑顔が子どもの笑顔をつくります。「家庭」は、子どもにとって安らぎの居場所でなければなりません。そして、親は子育てを楽しみ、地域みんなが子育てを支援するそんな日南町を目指していきましょう。

そこで、家族はもちろん町民みんなが今よりちょっとだけがんばって、子どもたちのためにできることを今からやってみませんか。それは、子どもたちとの『ふれあい』です。

家族であいさつができていますか。ほめていますか。地域では、「子どもの声が聞こえない」、「子どもの姿が見えなくなった」など、……。どんなふうに子どもたちにふれあったらよいかわかりませんよね。



しかし、簡単にできる『ふれあい』とは、あいさつをすることです。声をかけることです。今までやってこられた人は、もうちょっと時間を長くして話してみたり……。もっと親しくなったら、頭をなでてほめたり……。

大人が変われば、子どもも変わるはずですよ。さあ実践してみましょう。